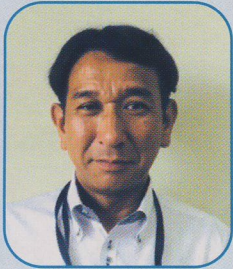




三方原協働センター 高柳 庄一郎 所長の紹介



三方原協働センター
高柳 庄一郎 所長



日頃より、三方原協働センターの事業にご理解をいただき、ありがとうございます。また、公民館から「協働センター」へと名称が変わって7年目を迎え、地域の皆様には幅広くご利用いただき、大変感謝しております。

その中でも、三方原地区社会福祉協議会様におかれましては、当協働センターを拠点とした活動を数多く展開していただくとともに、私共の事業にも積極的にご参加いただいているところです。

現代社会において、高齢化や少子化のみならず、複雑な諸問題が数多く渦巻く中、毎月開催される『ふれあい相談室』や『家事支援みかたはら』など、社会のニーズにいち早く対応した積極的な取り組みは、三方原地区における「安心と安全な街づくり」において大変重要な役割を果たされており、会長ならびに会員の皆様方の多大なご尽力に対して敬意を表すとともに、三方原地区社会福祉協議会様のますますのご活躍を祈念いたします。

所長 高柳 庄一郎



聖隷クリストファー大学 2019年度 オープンカレッジ ～豊かな暮らしと健康のために～



基調講演『“我が事”意識に基づく地域共生社会構築に向けて』

～「家事支援」を中心に三方原地区社協の活動を報告～

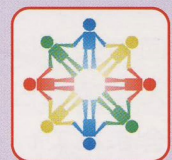
10月5日、浜松市地域情報センターで同大学が(社)静岡県社会福祉士会西部支部との共同主催で開催したオープンカレッジに、他のシンポジストと共に当地区社協から小倉会長が参加しました。当日のテーマは、「浜松市三方原地域における地域共生社会構築の現状と課題」でした。

小倉会長は、『三方原地区社協の実践』というテーマで家事支援を中心に発表しました。「家事支援みかたはら」の設立の経緯や、事前に地区内へのアンケートを全戸配布し、「多くの方からこの事業に支援する側として協力して頂ける」との回答に自信と安心を得られた。」などと報告がされました。報告の後半では、家事支援のボランティア活動に参加した動機、活動後の感想、利用者からの感想などをアンケートに寄せられた意見として発表がありました。

当地区社協からは13名が参加し、基調講演や他の発表者の報告に耳を傾けていました。

<参考>小倉会長以外の発言者

基調講演	日本福祉大学副学長	原田 正樹 氏
シンポジスト	地域包括支援センター三方原センター長	澤本 友子 氏
シンポジスト	浜松市社会福祉協議会北地区センター長	金森 徳之 氏
コーディネーター	聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授	佐藤 順子 氏



広報部会長 大石 千恵子



初生なかよし会



令和元年度「浜松市教育文化奨励賞(地域文化賞)」を受賞

初生なかよし会の「浜松市教育文化奨励賞(地域文化賞)」の受賞に寄せて

2019年9月20日、三方原地区社会福祉協議会の「初生なかよし会」(代表者 安間洋美、人権擁護委員)が、浜松市から「令和元年度浜松市教育文化奨励賞(地域文化賞)」を受賞しました。

本年6月、ある方から『「初生なかよし会」を表記奨励賞の受賞候補として、三方原地区社協の会長からは是非推薦してもらいたい。』とのお話がありました。

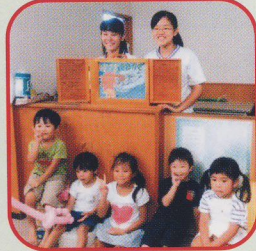
当地区社協としてもこれまで「初生なかよし会」が、大変優れた子育て親子の交流支援活動をしてきたことを各種会議などで報告してきたことから、このような表彰がある事を知り、“是非受賞してもらいたい”ものと思いました。そこで推薦を是非させて頂きたい旨を伝え、所定の文書にて推薦書一式を提出し、別途口頭による推薦説明も行い結果を待ちました。推薦のポイントとしては、無償のボランティアとして年間249日も活動してきていること、国や市などが進める「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現を既に7年前から実践出来てきていることなどを伝えました。受賞決定の通知を受け大変うれしく思うとともに、安間代表始めこれに関わってこられた皆さんに心よりお祝い申し上げます。併せてこの会が一層発展されますよう心より期待します。

会長 小倉 一夫



教育文化奨励賞を受けた3団体の代表者と
矢野さん(右端) 浜松市役所

10月24日 静岡新聞掲載



中学生ボランティア



ハロウィンパーティ



クリスマス会

この度の受賞は「子育て支援、地域活動を通じた次世代育成と地域発展への貢献…歌やリズム体操を折り込んだ季節行事の伝承活動、情報発信の場としての機能、大学生の実習の場、中学生のボランティア活動の受け入れ等々」が評価理由とのことでした。

平成23年4月に浜松市子育て支援課、三方原地区社協、初生自治会協議会のバックアップを頂いて発足しました。開設は初生放課後児童会の使用しない日(月曜日～土曜日を含む)の9時から12時となりました。

豆まき、雛祭り等年間伝承行事に歌やリズム体操、親子でつくる簡単工作、英語の歌などを企画してくれるお母さんたちは大変大きな存在です。

運営費捻出のため、職人級の手作り品で協力してくれる人達、作品販売の場所を提供してくれる各団体のお力添えもあります。北星中学のボランティア、常葉大学生や聖隷クリストファー大学生の実習、保健師さんの参画も、年々広がってきています。

今回の受賞は身に余る光栄に思いますが、「継続は力なり!」の言葉の通り、多くの皆さんからお力添えを頂き日々淡々と続けてきたことに対して、「今後も続けて頑張ってください」との励ましの意味も含まれているものと受け止めています。

乳幼児とそのご家族の来園をお待ちしています。(感謝!!)

2019年10月25日 安間 洋美



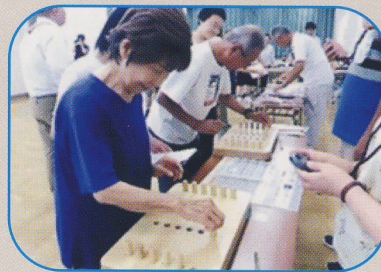
第14回 自立体力テストを開催 三方原協働センター1階ホール

9月4日、今年も恒例となった第14回『自立体力テスト』を開催しました。一般23名、スタッフ14名の参加者は年齢を忘れ、フットワークも軽く4種目のテストにチャレンジしました。

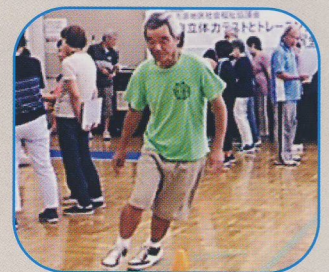
テスト参加者の平均年齢は74.6歳、平均体力年齢は70.0歳でした。



手作業能力テスト



歩行能力テスト



身体調整能力テスト



姿勢変換能力テスト



サロン活動の紹介 高齢者福祉部会

～ レクリエーションボランティアの派遣 ～

高齢者福祉部会では、昨年度よりレクリエーションボランティア派遣要請のあったシニアクラブにボランティアを派遣しています。6月10日、初めて派遣要請のあった初生南シニアクラブ「睦会」と、豊岡シニアクラブ「喜楽会」にボランティアを派遣しました。「睦会」では、三方原地区社会福祉協議会の活動の説明、ロコモ体操、指遊びなどを行いました。一方、「喜楽会」では、頭の体操、自家製ビンゴゲームの後小学校唱歌や流行歌などを大きな声で歌い、からだや脳・心の活性化を図り参加者に喜ばれました。

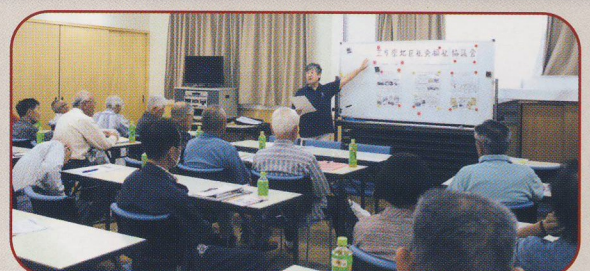
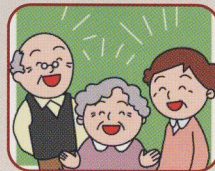
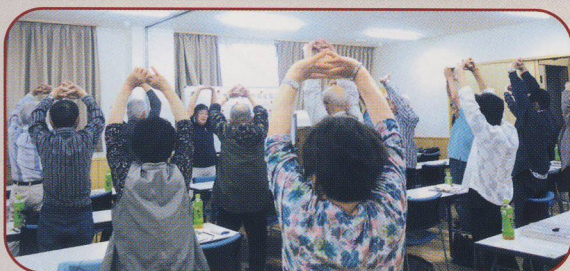


高齢者福祉部会長 前嶋 和行



レクリエーションボランティア

初南コミュニティホール



<お知らせ> 令和元年6月30日付「三方原地区社協だより」143号1ページの『本年度三方原地区社協 顧問・相談役・役員名簿』中、鈴木源治副会長が記載漏れでした。謹んでお知らせいたします。 広報部

令和元年度 第1回 初生校区 高齢者ふれあい交流会

令和元年7月5日、本年度第1回初生校区の高齢者交流会が、新しく3月にオープンした『初南コミュニティホール』で開催されました。

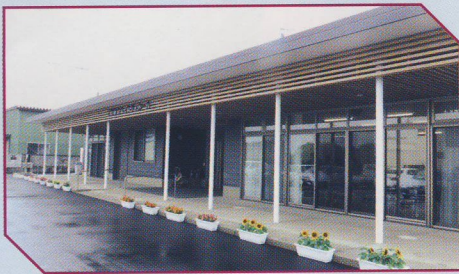
雨にもかかわらず、高齢者35名・スタッフ27名の参加者で賑わいました。雑学カルタやシーツマッスルのゲーム、リハビリ・ロコモ体操、懐かしい歌に振り付けをしておの合唱。休憩タイムでは参加者同士が交流を深め合い、皆さんの楽しそうな笑顔を沢山見させてもらいました。

次回も大勢の皆さんの参加をお待ちしています。



広報部会・初生町南自治会長 袴田 武

初南コミュニティホール



七夕飾り



リハビリ・ロコモ体操



雑学カルタ



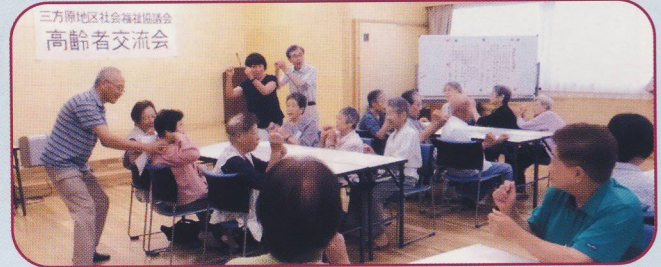
シーツマッスル



みんなで歌おう



お弁当の時間



高齢者ふれあい交流会は、豊岡校区・三方原校区・初生校区とも年2回づつ開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。 高齢者福祉部会